

平成 29 年度 専門課程 建設技術政策実践（係長級） 実施計画

平成 29 年 11 月
建設部建設企画科

1. 研修目的

国土交通省の建設技術に関する重点政策を理解し、意識を高め、推進していくために必要となる総合的な知識・技術を修得させることを目的とする。

以下の各点を重点項目とする。

- ① 最新の重点政策に関する背景の理解、総合的な知識の修得
- ② ストック効果の事後評価事例を通じたストック効果の実践的な技術の修得

2. 対象者

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の技術系職員で次のいずれかに該当する者

- ① 地方整備局の係長、事務所の係長又はこれと同等の職にあると認められる者
- ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者

3. 研修期間

平成 30 年 1 月 17 日(水)～1 月 19 日(金) (3 日間)

4. 研修定員

		国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
平成 29 年度	計画	23	1	4	2	-	30

5. カリキュラム

基本科目、専門科目、全体討議で構成する。

全体討議については以下のとおり。

テーマ：ストック効果の事例研究（予定）

実施方法：設定されたテーマについて、班別討議によりレポートを取りまとめ、全体討議で発表、意見交換等を行う。（予定）

6. その他

テキスト代（予定）15,000 円

平成 29 年度 専門課程 建設技術政策実践（係長級） 教科目一覧表

区分	番号	教科目	講師の所属・氏名	時間	備考
基本科目	1	国土交通省における生産性革命について	大臣官房技術調査課 環境安全・地理空間情報技術調整官 手塚 寛之	1.5	生産性革命に関する動向
		小計		1.5	
専門科目	2	i-Construction概論	大臣官房技術調査課 事業評価・保全企画官 竹下 正一	1.0	i-Construction最新の動向(全体像、ICTの活用、平準化、基準類)
	3	新技術の活用について	大臣官房技術調査課 課長補佐 渡邊 賢一	1.0	国土交通省における新技術活用の取り組み
	4	イノベーションの社会実装について	(一社)日本建設機械施工協会 会長 田崎 忠行	1.5	新技術活用の必要性、社会実装
	5	ストック効果の最大化に向けて(仮)	京都大学防災研究所社会防災研究部門 防災社会システム分野 教授 多々納 裕一	1.5	ストック効果の考え方、防災投資の事例等
	6	建設現場におけるICTの未来について	コマツ スマートコンストラクション推進本部 副本部長 小野寺 昭則	1.5	ICT建機の紹介、今後の展開
	7	ストック効果(事例紹介)	総合政策局公共事業企画調整課 調整官 中根 達人	1.0	各分野におけるストック効果の事例紹介
	8	土木技術者の役割について	(株)熊谷組 相談役 大田 弘	1.5	黒部ダムを建設した時の土木技術者の役割について
		小計		9.0	
	演習	9	ストック効果事例研究(班別討議)	大臣官房技術調査課課長補佐 橋本 亮 大臣官房公共事業調査室 中村 昴雅 総合政策局公共事業企画調整課 調整官 中根 達人 総合政策局参事官(社会資本整備)付 課長補佐 山口 隼人	1.5
10		ストック効果事例研究(全体討議)	東京理科大学理工学部土木工学科 教授 寺部 慎太郎 大臣官房技術調査課課長補佐 橋本 亮 大臣官房公共事業調査室 中村 昴雅 総合政策局公共事業企画調整課 調整官 中根 達人 総合政策局参事官(社会資本整備)付 課長補佐 山口 隼人	1.5	
		小計		3.0	
その他	12	入校式・修了式等	教務課等	2.0	
		小計		2.0	
		合計		15.5	

【敬称略】